



『最先端の腹腔鏡下手術と抗癌剤治療』

昭和大学藤が丘病院 消化器外科 准教授 日比健志

『栄養科の紹介』

『藤が丘病院・リハビリテーション病院ワークショップを開催して』

『食中毒について一食中毒ってなんだろう』

『「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について』

『ミラクルサマーコンサート開催のお知らせ』

『公開講座を開催いたしました』

巻頭言

『最先端の腹腔鏡下手術と抗癌剤治療』



消化器外科
医長・准教授 日比健志

昭和大学藤が丘病院消化器外科は、大きく分けて、消化器・一般外科、乳腺外科に区分されます。私自身は下部消化管及び肛門の外科を専門として参りました。大腸癌の手術、化学療法は言うに及ばず、炎症性腸疾患の治療についても貢献してきたものと考えております。現在は医長として、これらの仕事をさらに押し進めることは勿論、その他の消化器疾患についても研鑽を重ね、地域の皆様に、常に最先端の医療を供与しているものと考えております。特に最近では傷がほとんど残らず、しかも低侵襲の単孔式腹腔鏡下手術を行っています。また抗癌剤治療におきましても、最新の薬剤と治療計画を用いる事で、患者様の予後は飛躍的に改善しております。県下トップレベルの治療患者数を誇るのも、その表れであると自負しております。

詳しくは当科ホームページを御覧下さい。[\(http://www.surgery.gr.jp/\)](http://www.surgery.gr.jp/)

しかし先端医療ばかりを追い求めると、ややもすれば患者様のニーズを見落としたり見失ったりする事があります。私は常々医療というものは、患者様と医療関係者との間に構築される信頼関係の上に成り立つものと考えております。自分も含め外科医局員には、まず患者さんとのコミュニケーションを緊密に取ることが第一と教育しております。我々はこの全人的な医療を供する事により、患者様からは常に高い信頼を勝ち得ているものと自負しております。

我々の研究について述べさせていただきます。我々が癌の研究をしている最大の目的は、つねに癌患者の診断や治療、予防に、研究の成果を直接役立てて、その癌の根治に寄与することにあります。その点で臨床と研究のどちらも行うことのできる大学という環境にあっては、臨床に即した高度なトランスレーショナルリサーチ(基礎的な研究の成果を実際に臨床応用する)を展開できるものと考えております。大学は常に世の中の最先端の仕事をしなければならないという使命を考える時、トランスレーショナルリサーチを行うことで、患者様に最先端の治療を供与出来ると共に、若手医師には最先端の医学への興味を惹起し、優れた人材の育成にも寄与できるものと考えております。

昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 栄養科の紹介

藤が丘病院栄養科には現在、病院側スタッフ4名(管理栄養士3名、栄養士1名)と委託側スタッフ50名が在籍しています。リハビリテーション病院には病院側スタッフ2名(管理栄養士1名、栄養士1名)、委託側スタッフ27名が在籍し、給食管理業務と栄養管理業務を行っています。

給食管理業務では、両病院合わせて1食600食、1日1800食の食事を提供しています。病院食は治療の一環ですが、入院中の患者さんの楽しみとなるよう、食材・味・温度・食器にこだわり、「心と身体に美味しい食事」をモットーに日々業務に携わっています。

栄養管理業務は、入院患者さんの栄養状態の把握と評価を行っています。食事摂取が困難な患者さんにも、他職種と連携を図り栄養剤・輸液の調整や、食形態の調整など個人レベルでの対応を行っています。外来患者さんには、主に栄養指導で対応を行っています。

栄養指導は診療行為であるため、月400件の栄養指導はほぼ全て個人指導です。誤った食事療法は病態を左右することもあり、患者さんの疾患やライフスタイルに合わせた継続的な指導に取り組んでいます。食事療法が必要な患者さんには是非栄養指導を受けて頂くことをお勧めします。

近年、栄養に対する認識が深まり、NSTをはじめとするチーム医療の中で栄養士としての専門性が強く求められるようになりました。今後も、大学病院の栄養科として、スタッフ一同研鑽して参ります。(昭和大学藤が丘病院 青塚光希)

※ NSTとは・・・Nutrition Support Team の頭文字で“栄養サポートチーム”をさします。



藤が丘病院・リハビリテーション病院 ワークショップを開催して

6月4日・5日の2日間、理事長・統括看護部長・院長・副院長をはじめ、医師・看護師・事務部門等、総勢56名の職員が参加して、初めての試みである宿泊でのワークショップが行われました。私は救命センター専用病棟の責任者として参加しました。当病棟は救命センターのベッド稼働を維持するため、ある程度の空床確保が求められます。しかし、3階にある救命センターとは体制も階も違う環境にあることで、患者さんのスムーズな転室ができず、必要以上の空床が続くこともあります。そのことで、責任者として常にベッドコントロールに悩んできました。しかし、今回のワークショップが、病院目標を達成する病棟管理を考える良い機会となりました。それは、グループワークを通して、理想論だけではなく具体的な方法論を話し合ったことは勿論ですが、何より病院の中とは違う環境で、メンバーと交流を持てたということが現在の関係性にも生かされていると感じられるからです。これからも、今回のようなワークショップを継続しておこない、病院目標を確実に達成することが必要だと実感しました。(看護部 高倉加代)



梅雨～夏にかけての時期は、食中毒の防止が重要です。食中毒のことを知って、予防を心がけましょう！

くまず、食中毒ってなんでしょう？>

食べ物に付いている病原体や食べ物の毒などをたべることによってかかる病気のことです。

食中毒が起きる原因は、主に3つあります。

その1) 病原体がついた食べ物をたべて食中毒菌がお腹の中で増える

その2) 食べ物の中で、病原体が増えた食べ物をたべる

その3) 毒のある食べ物をたべる



食中毒を防ぐには？ 食中毒予防に大切な3ポイント

その1) 食中毒になる病原体をつけない

- ・食事をつくる前、食べる前にはよく手を洗いましょう
- ・食品を保管するときは、蓋がある容器やラップを使用しましょう

その2) 食中毒になる病原体を増やさない

- ・食事を作った後、早目に食べましょう
- ・お肉やお魚はきちんと保冷しましょう

その3) 病原体を減らす、なくす

- ・お肉の料理は火をよく通しましょう
- ・お料理に使うまな板や包丁は熱湯などで消毒しましょう

※一口メモ

牛肉とO-157（腸管出血性大腸菌）の関連性があることは、よく知られています。ただし、牛肉が危ないのではありません。生肉の扱い方さえ、気をつければ心配いりません。生肉に触れたお箸でたべない、生肉を切ったまな板で生野菜など扱わない、良く火を通すなどなど、きちんと注意点を守れば予防につながります。

病院からのお知らせ

「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

平成22年度の健康保険法の改定により領収書の発行とともに個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行することが義務付けられるようになりました。

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点をご理解いただき、

明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨をお申し出下さい。

病院からのお知らせ

□ ミラクルサマーコンサート開催のお知らせ

平成22年8月7日(土)午後3時より、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院G階外来待合室にて、開催いたします。

演奏： 湘南スウィングシスターズ

演奏曲(予定)

- ・ブルーレディーに紅いバラ
- ・リンゴの木の下で
- ・テネシー・ワルツ
- ・夏の思い出
- ・少年時代
- ・東京ブギ 他

【問合せ先】昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 管理課 045-974-2221(代表)

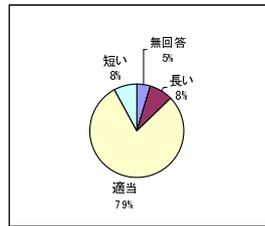
□ 公開講座を開催いたしました

平成22年6月26日(土)昭和大学公開講座『暮らしと健康—心血管病の運動療法—』をテーマに藤が丘病院C棟臨床講堂にて開催いたしました。当日は、暑い中、71名の方にご参加いただきました。

【アンケート結果】※原稿の都合上、一部のご紹介となります。

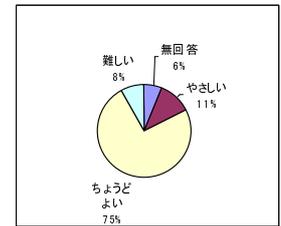
● 講演時間について

適当・・・79%
短い・・・8%
長い・・・8%
無回答・・・5%



● 講演内容について

ちょうど良い・・・75%
難しい・・・8%
やさしい・・・11%
無回答・・・6%



● 公開講座についての感想

良い	<ul style="list-style-type: none">●身近で学べる数少ない機会であり、大変ありがたい。●非常に有益でした。合理的な健康保持のため、今後も受講していきたいです。●テーマを絞って短時間。無駄が無くわかりやすかった。
悪い	<ul style="list-style-type: none">●エアコンがききすぎていて寒かった。●時間内でカバーすべき内容が多く、話し方が速すぎて理解が難しかった。●現状についてのプリントが欲しかった。●スライドのうつりが悪い、字が小さすぎた。●今回のテーマは「心血管病の運動療法」だったが、効果の説明が主で、実際にどのようなセルフトレーニングを行えばよいか明確でなかった気がする。

※次回公開講座は平成22年10月開催予定です。詳細はおって掲示をいたします。皆様の御参加をお待ちしております。